

2018年9月期 中間決算説明会

説明者 代表取締役頭取 齋藤 一雄

2018年11月21日



群馬銀行

東証第1部:8334

I. 決算概要

1. 収益状況（連結）	P. 1
2. 資金利益の状況	P. 2
3. 貸出金の状況	
(1) 貸出金の内訳	P. 3
(2) リテール貸出の地域別状況	P. 4
(3) 個人貸出のアパート資金	P. 5
(4) 無担保消費者ローンの状況	P. 6
(5) 貸出金利回（国内部門）の状況	P. 7
4. 有価証券の状況	P. 8
5. 非金利業務利益の状況	P. 9
6. 与信費用等の状況（単体）	P. 10
7. 中期経営計画（VT-プラン）について	P. 11

II. 業績見通し等

1. 2019/3期 業績見通し	P. 15
2. 自己資本等の状況	P. 16
3. 1株当たり指標等と株主還元の状況	P. 17

I. 決算概要

1. 収益状況(連結)

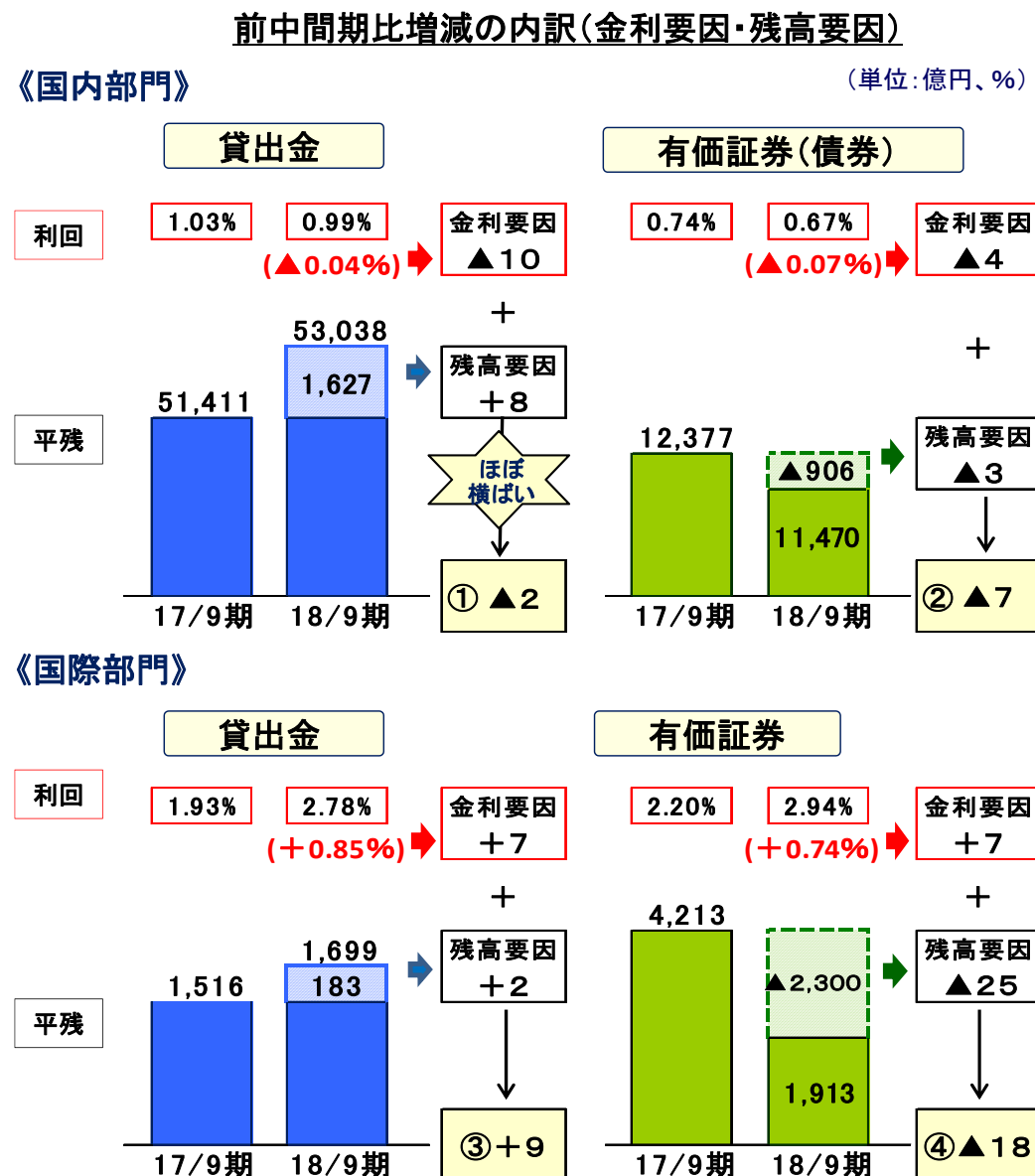
(単位: 億円)

	No.	17/9期	18/9期	17/9比	計画比	上期計画 (18/9期)	<特記事項>
コア業務粗利益	1	505	486	▲ 18	23	463	① 米ドル金利上昇下、ドル調達負担増と外債の ポート改善に伴う運用残高減が主因。 ⇒ コア業務純益減少の主因
資金利益	2	413	394	▲ 18	27	367	
投信解約益	3	39	34	▲ 4	18	16	② 投信・保険、法人役務は健闘したが、 住宅ローン団信保険の配当減と料率アップ等 により、全体では横ばい。
除く、投信解約益	4	374	360	① ▲ 14	9	351	
非金利業務利益	5	91	91	0	▲ 5	96	③ 82億円 有価証券関係 ▲ 23 〃 (債券関係) ほぼ年間計画 106 〃 (株式関係) 50 〃 (純投) 56 〃 (政策) 年間計画の7割
役務取引等利益	6	73	74	② 0	▲ 3	77	
その他業務利益	7	18	17	▲ 0	▲ 1	18	
経費(除く、臨時)	8	294	293	▲ 0	0	293	④ 1Qの比較的大口先の格下げに伴う引当の増加 (約7億円)を主因に計画比+10億円。
(コア業務純益) 1-8	9	210	193	▲ 17	23	170	
(有価証券関係損益)	10	101	③ 82	▲ 19	9	73	⑤ 前年中間期比▲27億円の主因。 1) コア業務純益(資金利益)の減少 2) 前年の有価証券関係損益の中間期への集中
(与信費用)	11	4	④ 16	11	10	6	
その他	12	▲ 15	▲ 5	9	2	▲ 7	⑥ 計画比+14億円の主因は、資金利益の増加。 1) 投信解約の機動的な前倒し実施 2) 内外資金運用益の上振れ
経常利益	13	292	253	▲ 38	23	230	
中間純利益 (親会社株主帰属分)	14	201	174	⑤ ▲ 27	⑥ 14	160	
銀行単体	15	189	164	▲ 25	14	150	
連単差額	16	11	9	▲ 1	▲ 1	10	

2. 資金利益の状況

(単位:億円)

	No.	17/9期	18/9期	17/9比
資金利益(連結)	1	413	394	▲ 18
資金利益(銀行単体)	2	414	395	▲ 18
国内業務部門	3	383	375	▲ 8
うち預貸金	4	260	260	0
貸出金利息	5	265	263	▲ 2
預金利息(▲)	6	5	3	▲ 2
うち有価証券利息配当金	7	119	112	▲ 6
債券利息	8	45	38	▲ 7
配当金・分配金	9	34	39	4
投信解約益	10	39	34	▲ 4
国際業務部門	11	30	19	▲ 10
うち貸出金利息	12	14	23	9
うち有価証券利息配当金	13	46	28	▲ 18
調達費用(▲)	14	31	33	1



⑤ 米金利上昇によるコストアップ

3. 貸出金の状況

(1) 貸出金の内訳

(単位: 億円、%)

	17/9末	16/9末比		18/9末	17/9末比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
貸出金	54,421	3,420	6.7	55,495	1,074	1.9
リテール	42,280	2,343	5.9	44,224	1,944	4.6
中小企業 (*1)	20,208	1,280	6.8	21,405	1,196	5.9
個人	22,071	1,063	5.1	22,818	747	3.3
うち住宅関連融資	21,347	1,035	5.1	22,073	725	3.4
住宅ローン	13,074	138	1.1	13,163	89	0.6
アパートローン	5,684	486	9.4	6,133	448	7.8
その他	2,588	410	18.8	2,776	188	7.2
うち無担保消費者ローン	466	50	12.1	500	33	7.1
その他	9,224	▲291	▲3.1	9,460	235	2.5
クロスボーダー	888	226	34.3	1,005	117	13.1
ストラクチャードファイナンス	-	-	-	74	74	-
国内大・中堅企業	6,808	▲460	▲6.3	6,992	184	2.7
その他 (*2)	1,527	▲58	▲3.7	1,388	▲139	▲9.1
海外店	507	84	20.1	579	71	14.1
公共	2,409	1,283	114.0	1,232	▲1,176	▲48.8

引き続き、好調な増勢を維持

全地域で増加

アパートローンが
個人貸出を牽引
(伸び率: 群馬2.5%、京浜25.1%)

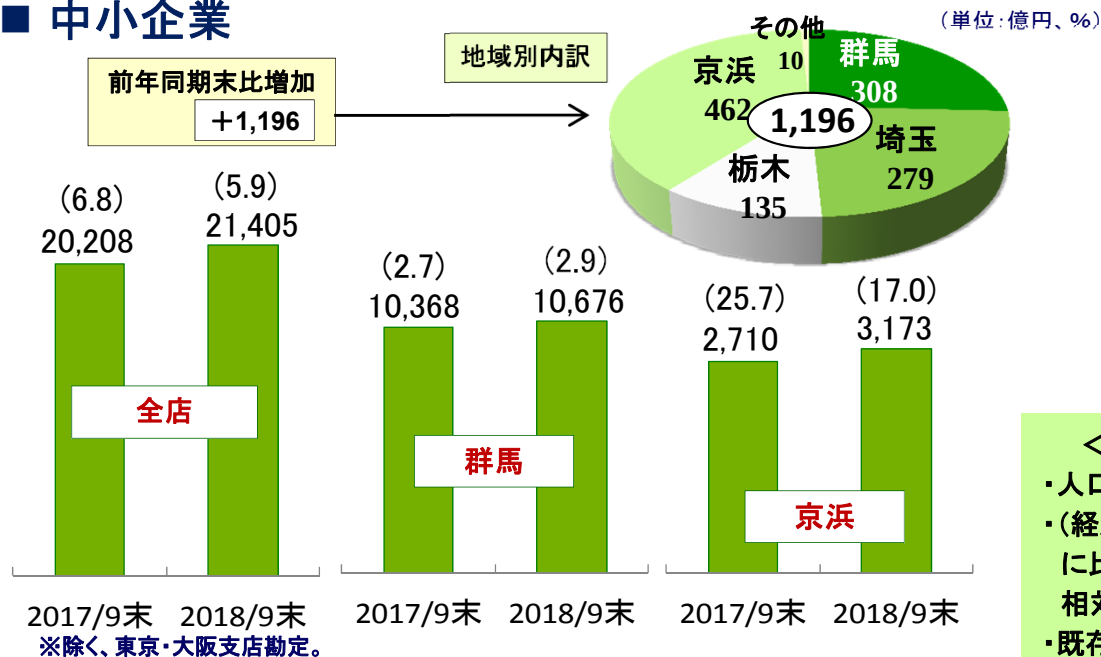
電力など、高格付け中心

財務省向けの削減

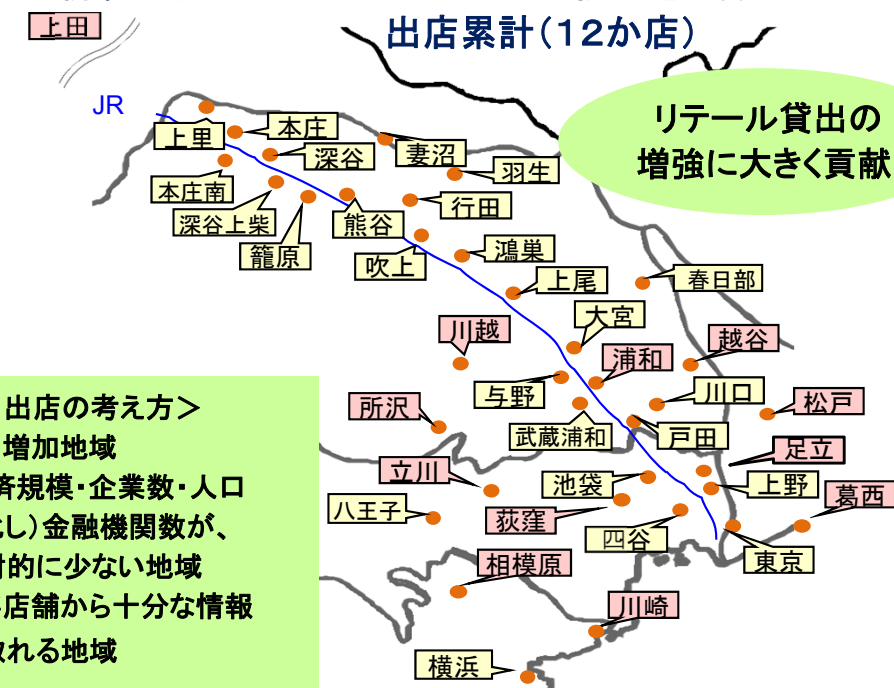
※ 「中小企業」(*1)には地方公社、東京支店・大阪支店勘定を含めず、その他(*2)に区分しています。

(2) リテール貸出の地域別状況

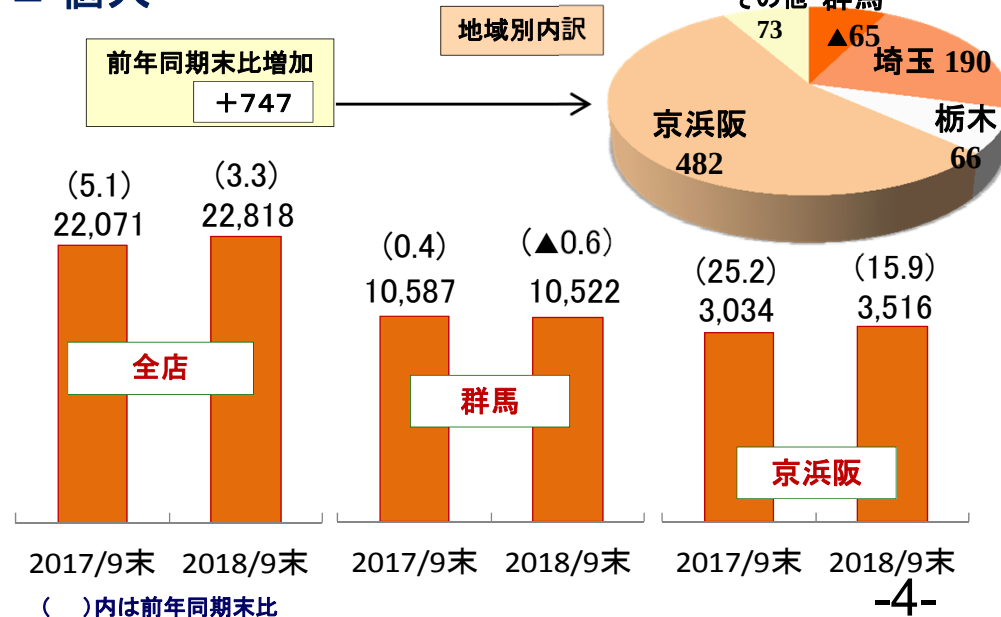
■ 中小企業



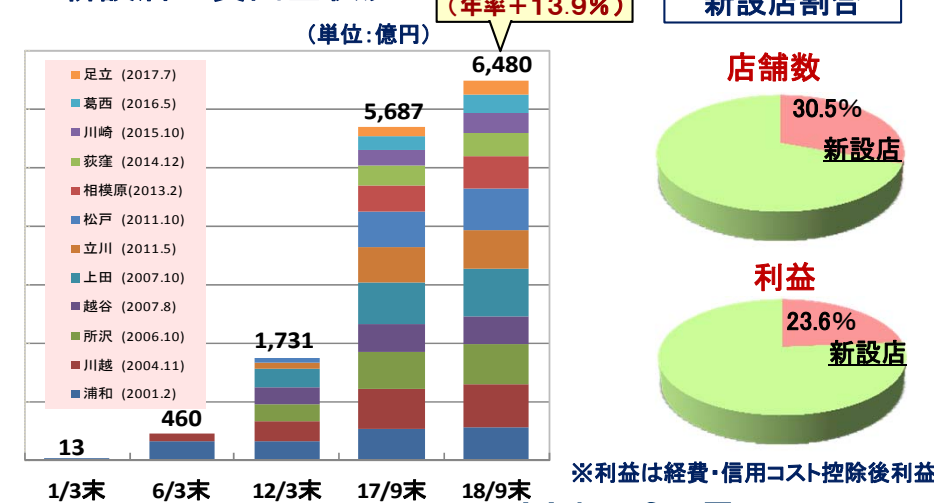
■ 新規出店の状況 ~マーケットの拡大を意識した出店累計(12か店)



■ 個人



■ 新設店の貸出金状況



(3) 個人貸出のアパート資金

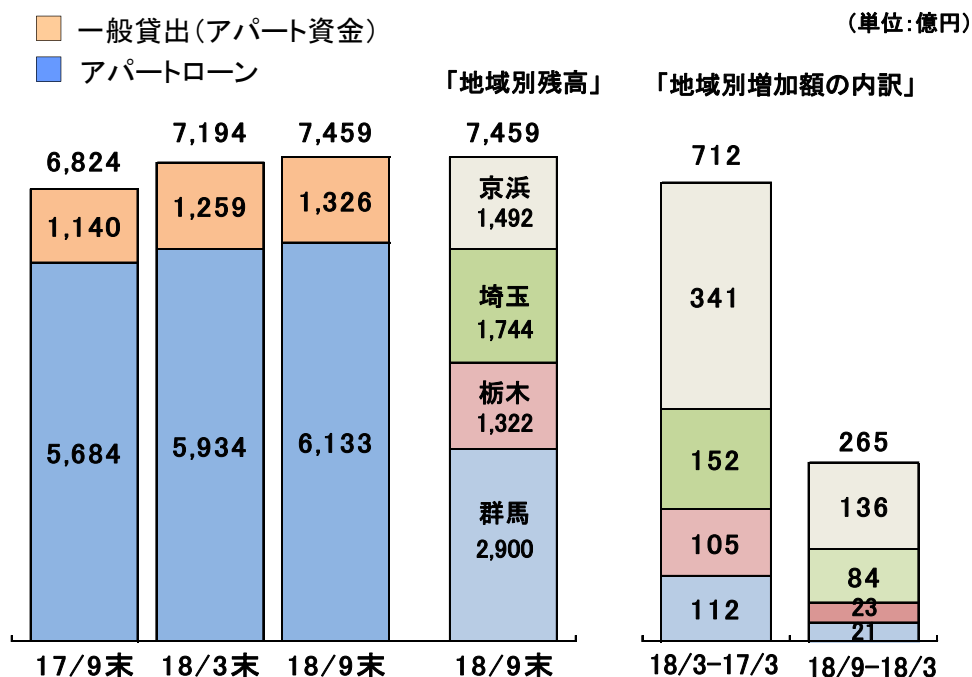
■ アパート資金

- ・個人富裕層の土地活用ニーズや節税・相続対策ニーズへの対応

■ 貸出形態

- ①専用ローン(アパートローン) …… P3「アパートローン」
 - ・土地オーナー向けのアパート建築資金
 - ②一般貸出 …… P3「アパートローン」下段の「その他」の一部
 - ・アパートローン要件に合致しない資金
- 例) 借入3億円超の場合や土地取得資金を含む場合など。

■ アパート資金(個人貸出)の内訳推移



■ アパート資金の取組方針

- ・富裕層の土地活用や節税・相続案件
 - ⇒ コンサルティング営業の実践として継続
- ・引き続き、案件検討の入口段階での確認を実施
 - ⇒ ①アパート経営の目的・リスクの相互確認
(フィデューシャリー・デューティーの適切な履行)
 - ②金利や空室率への耐性確認
(富裕層ニーズ対応を徹底)
- ・需給や与信面から重点推進地域は京浜地域
- ・ローン実行後モニタリングの徹底
 - ⇒ アパート経営の収支・入居状況の確認
(税務申告書、現況確認)

■ アパートローンのデフォルト率等

- ①デフォルト率(17年度) デフォルト:要管理先以下になること。

アパートローン	賃貸不動産向け貸出*
0.07%	0.22%

*含む、法人所有の居住用賃貸物件向け。

- ②DSCR、空室率(17年度)

件数	全体	前橋	高崎	京浜
空室率(%)	5.6	9.0	5.7	2.8
DSCR(倍)	1.35	1.31	1.32	1.47

*含む、法人所有の居住用賃貸物件。

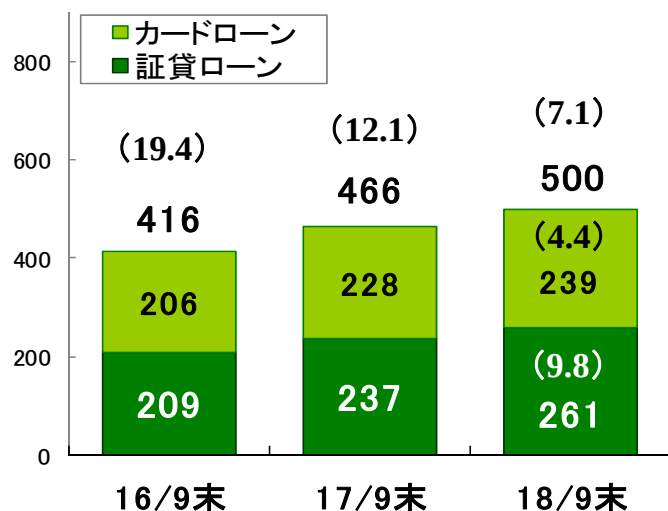
(4) 無担保消費者ローンの状況

■ 貸出残高

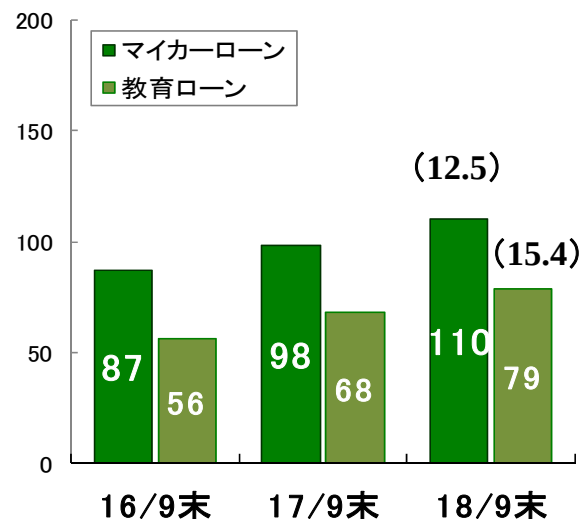
※()内は前年同期末比

(単位: 億円、%)

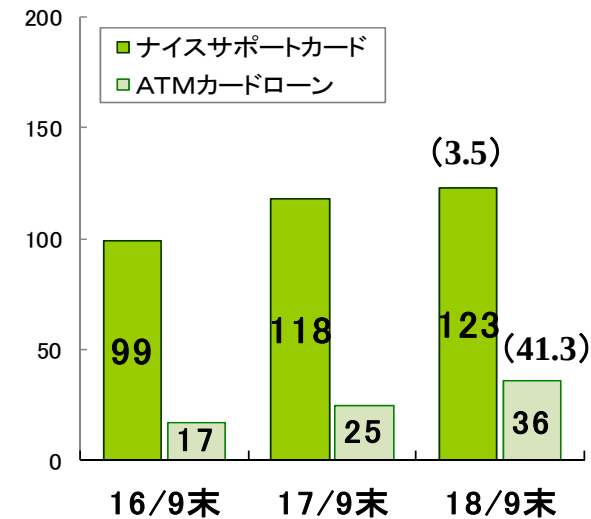
〈無担保消費者ローン〉



〈うち主な証貸ローン〉

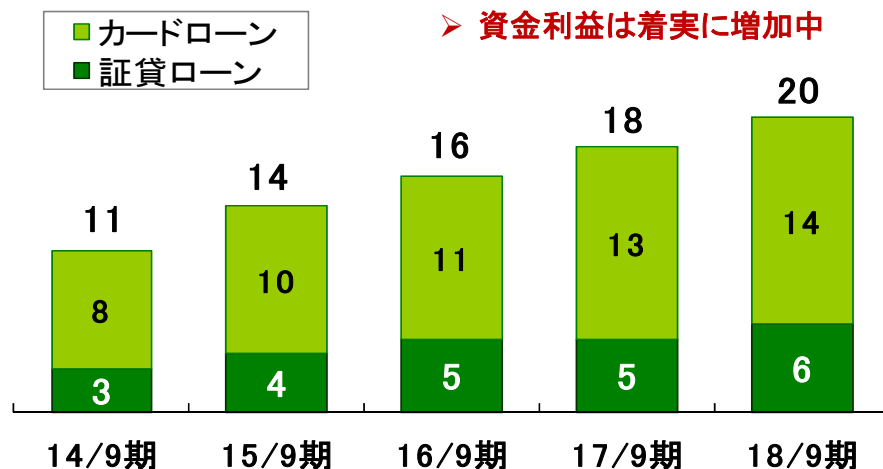


〈うち主なカードローン〉



■ 資金利益

(単位: 億円)



➤ 資金利益は着実に増加中

■ 無担保消費者ローンの増強

- ・商品性の向上と非対面サービスの充実
「WEB完結サービス」の対象商品の拡充
- ・クロスセルの実施

(5) 貸出金利回(国内部門)の状況

■ 貸出金利回の内訳

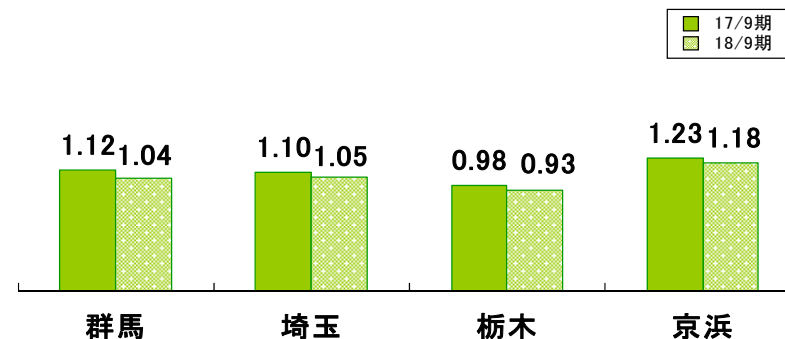
	17/9期	18/9期	前年同期比
国内部門貸出金 ※1	1.03	0.99	▲ 0.04
リテール	1.20	1.13	▲ 0.07
中小企業 ※2	1.11	1.05	▲ 0.06
個人貸出	1.27	1.20	▲ 0.07
うち住宅関連融資	1.13	1.06	▲ 0.07
うち住宅ローン	1.16	1.09	▲ 0.07
うちアパートローン	1.08	1.01	▲ 0.07
うち無担保消費者ローン	8.09	8.06	▲ 0.03
大・中堅企業	0.32	0.32	-
公共貸出 (含む、財務省向け)	0.40	0.43	0.03

※1 以外は貸倒債権除き。

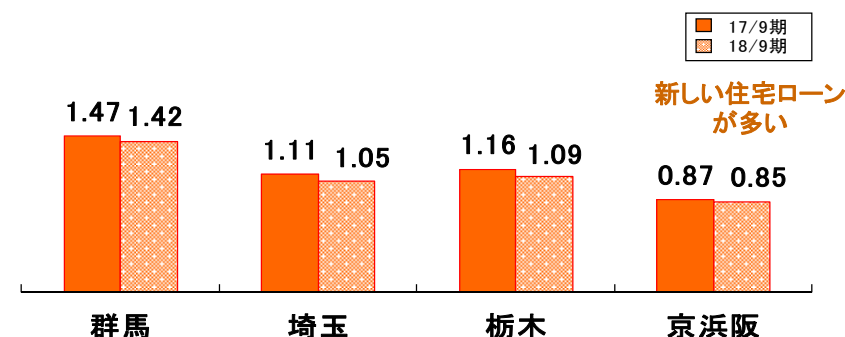
※2 中小企業は、地方公社、東京支店・大阪支店勘定を含めておりません。

構造改善
の
効果

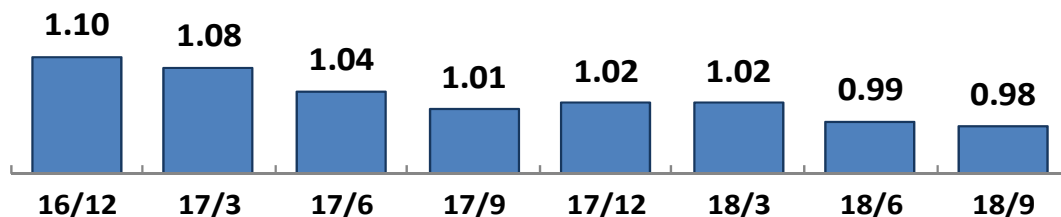
■ 中小企業貸出の利回(17/9-18/9期)



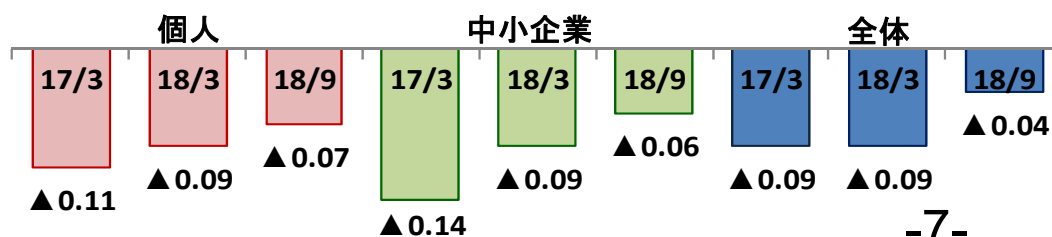
■ 個人貸出の利回(17/9-18/9期)



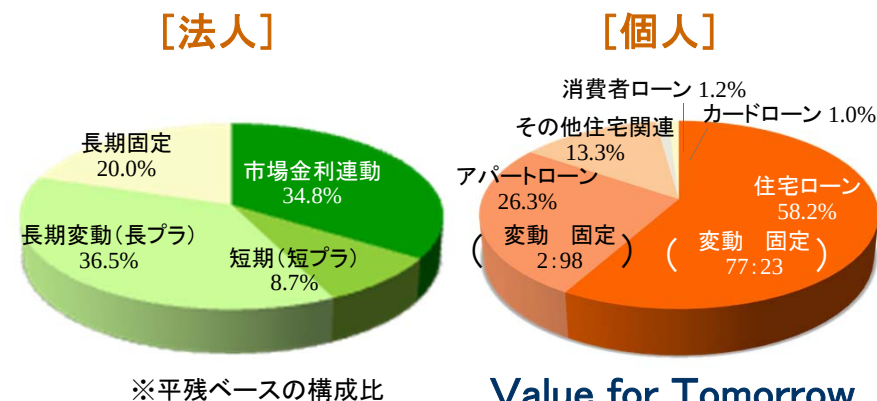
■ 国内部門貸出金 四半期中利回の推移



■ 国内部門貸出金利回(前年同期比)の推移《実績と計画》



■ 金利タイプ別残高構成

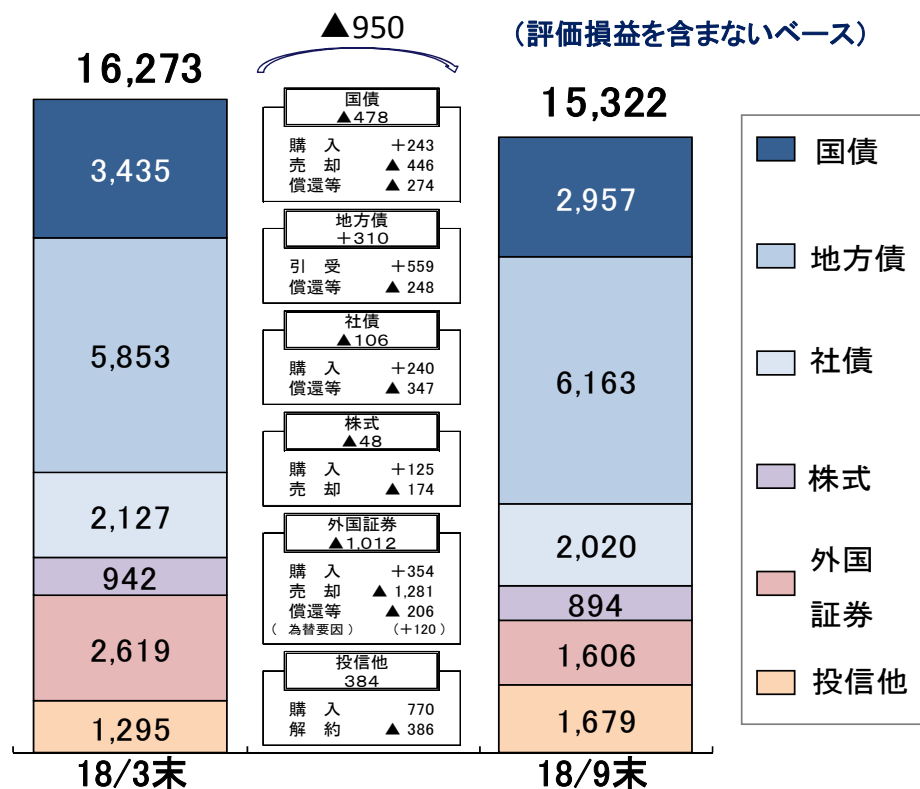


Value for Tomorrow

4. 有価証券の状況

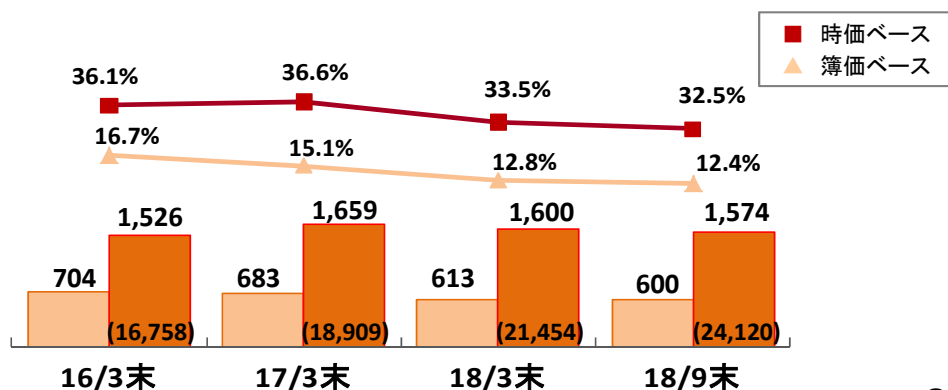
■ 有価証券末残高

(単位: 億円)



■ 政策投資株式残高と単体Tier1対比

(単位: 億円)



※ 子会社、非上場を含む。()内は日経平均株価

■ その他有価証券評価損益

■ 売却損益

(単位: 億円)

	18/3末	18/9末	18/3比
債券(国内)	195	139	▲55
株式	1,139	1,087	▲52
政策	986	973	▲13
純投	153	113	▲39
外国証券	▲6	10	16
ETF	▲1	10	11
債券他	▲5	▲0	5
投資信託	22	15	▲7
私募	14	▲7	▲21
REIT	7	20	13
ETF	0	1	0
小計	1,155	1,112	▲43
合計	1,351	1,252	▲98

	17/9期	18/9期
債券(国内)	0	3
株式	63	104
政策	42	56
純投	21	48
外国証券	21	▲27
ETF	21	▲0
債券他	0	▲27
投資信託	56	36
私募	39	34
REIT	0	-
ETF	17	1
小計	140	116
合計	140	116

	17/9期	18/9期
資金利益	39	34
債券売却損益	1	▲23
株式売却損益	100	106

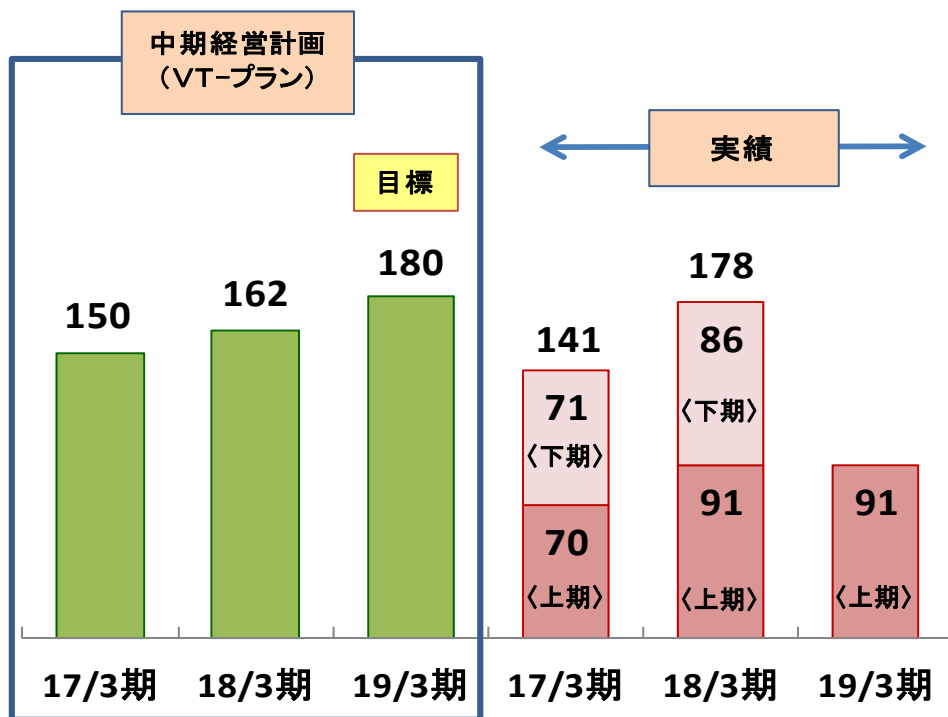
株式: 政策株の計画的売却。
外債: 入替の売却先行。
投信: 期初計画比前倒しで利益確保。

■ デュレーション・利回

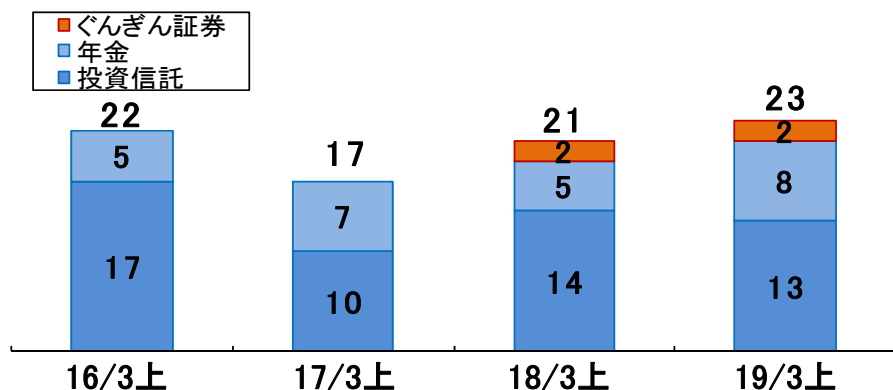
	(国内債券)		(外国債券)	
	18/3末	18/9末	18/3末	18/9末
修正デュレーション(年)	4.16	3.94	3.90	2.74
債券平均利回(%)	0.72	0.66	2.19	2.92

5. 非金利業務利益の状況

■ 連結非金利業務利益の状況



■ 投信・保険手数料の内訳



■ 非金利業務利益の内訳

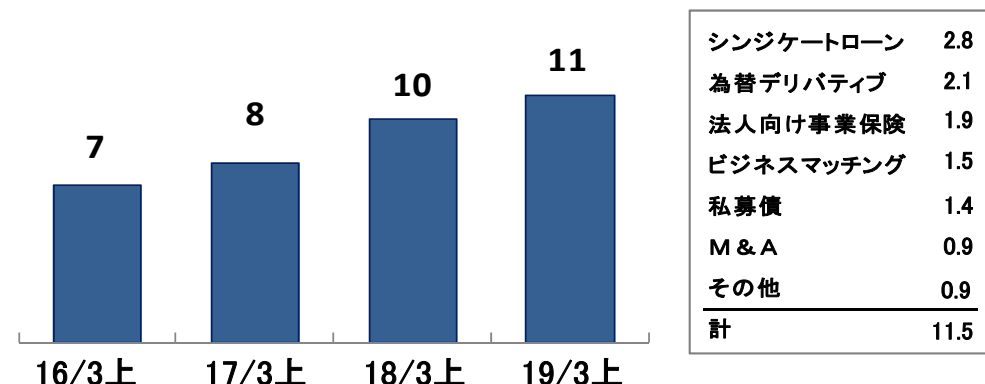
(単位: 億円)

	17/9期	18/9期	前年同期比
連結非金利業務利益	91	91	0
銀行	64	64	0
基盤役務収益※	42	42	0
投信・保険手数料	20	21	1
法人役務収益	10	11	1
その他受払ネット	6	6	0
団信保険料	▲5	▲7	▲2
ローン保証料	▲9	▲9	▲0
子会社等	27	27	0
群馬信用保証	13	13	0
ぐんぎんリース	13	12	▲0
ぐんぎん証券	5	7	1
その他連結修正等	▲4	▲4	0

※基盤役務収益＝為替、代理事務、EB、貸金庫等の手数料

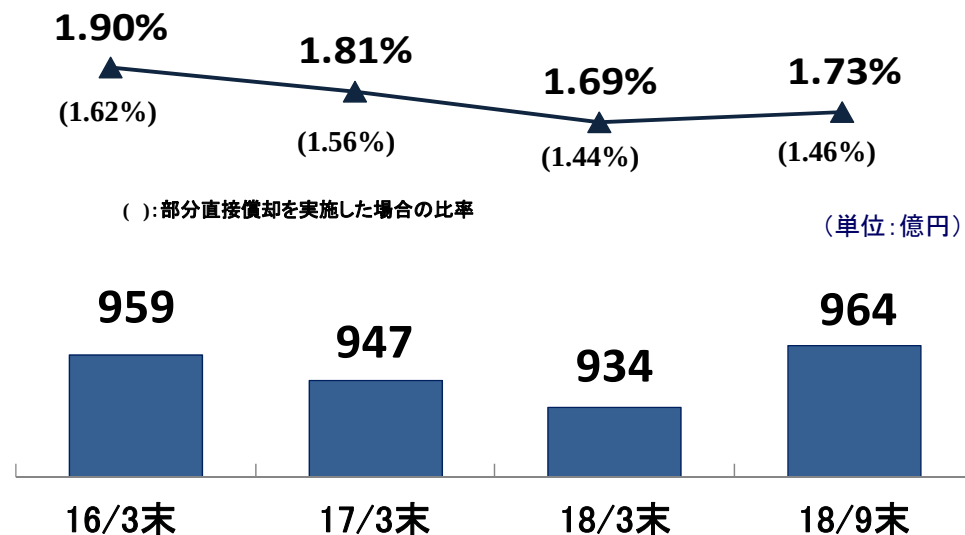
■ 法人役務収益の内訳

〈19/3上実績〉



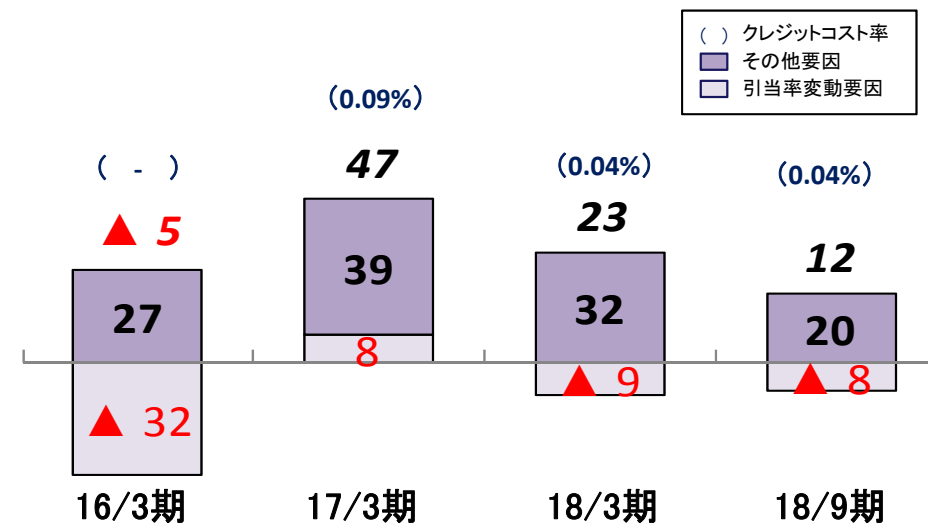
6. 与信費用等の状況(単体)

■ リスク管理債権額(比率)の推移



■ クレジットコストの推移

(単位: 億円)



■ 貸倒引当金の引当率

(単位: %)

			引当対象	17/3期	18/3期	18/9期
正 常 先			債 権 全 額	0.039	0.044	0.044
そ の 他	実 抜 計 画 先 で ない 先	区 分 1	債 権 全 額	1.111	1.038	0.994
	要 注 意 先	区 分 2	債 権 全 額	8.106	7.200	6.693
要 管 理 先						
破綻懸念先Ⅲ分類			非保全額	39.488	37.470	35.005

◇与信費用について

<18/9期の主な内容>

- ① 製造業の大口1社 約 7億円
(正常 ⇒ 実質破綻)
- ② ランクダウン(大口4社) 約 4億円
(破綻懸念 ⇒ 実質破綻)
- ③ その他ランクアップ/ダウン等(ネット) ... 約 9億円
- ④ 引当率要因 約▲8億円

7. 中期経営計画(VT-プラン)について

■ 個人向けコンサルティング営業の強化

ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

・「ほけんの窓口」と業務提携し、平日19時迄、土日も17時迄営業する「ローン・ほけん相談プラザ」を高崎と大泉に設置。



・より充実した個人の相談業務に特化した「個人相談プラザ」を「前橋南ショッピングモール」に設置予定(19年2月)。



《 個人顧客：「〇〇店のお客さま」から「全店取引」へ 》

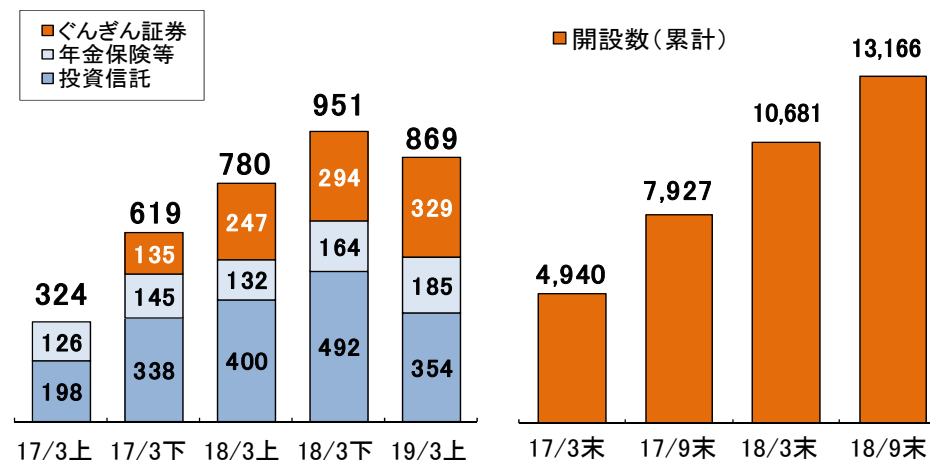
ぐんぎん証券との連携による金融商品提案力の向上

預かり資産販売額

(単位:億円)

ぐんぎん証券の口座開設数

(単位:口座)



● ぐんぎん証券の外観



・2016年10月開業
・2018年3月期 純利益3億円
(開業2年目で黒字化)
(順調推移中)

* 本店は当行前橋支店の3階です

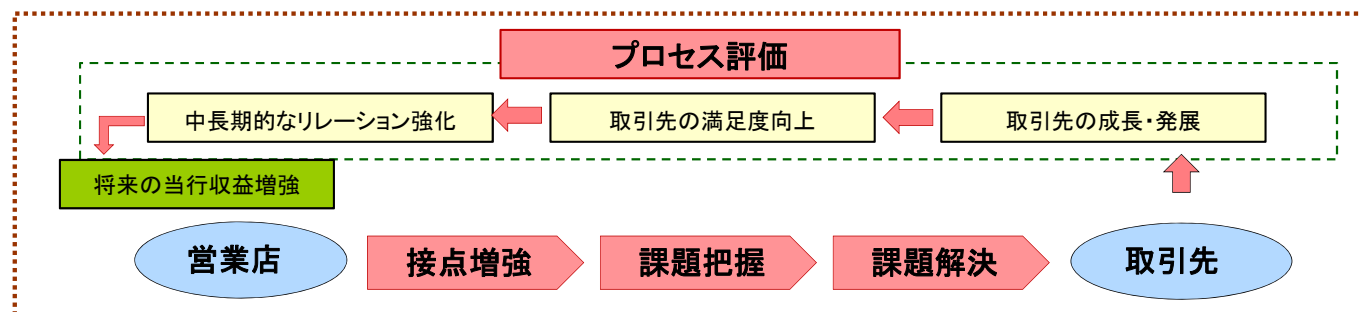
■ 法人向けの取組み（地方創生への取組み）

■ 地方創生への取組み

- 地域経済活性化に向けた自治体との連携 包括連携協定の締結（群馬県その他8市2町）
- 中小企業に対する具体的な支援
 - ・ 起業、創業、新規事業（商品）の導入等・・・ビジネスサポート大賞/各種ファンドの創設等
 - ・ 企業間交流、ビジネス情報の提供等・・・ぐんぎん経営倶楽部
 - ・ 専門人材の活用等・・・中小企業活性化支援サービス等
 - ・ 各種補助金の有効活用・・・補助金デスク
 - ・ 経営課題に対するソリューションの提供・・・「事業性評価」(※)に基づく最適な提案

(※)・地域経済や産業動向等を踏まえ、取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価すること。
・その過程で社長等との対話から経営課題（ニーズ）の相互認識を図り、ソリューション提案に繋げる。

■ 営業店の業績査定において、「事業性評価」の取組みに「プロセス評価」を導入



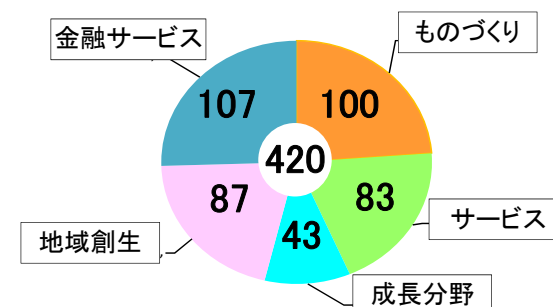
■ ぐんぎんコンサルティング(株)の設立

- ～より専門的なコンサルティング(ソリューション)を提供するために～
- ・2018年10月開業、資本金1億円、社員数13名でスタート

■ 群馬県、伊勢崎市との連携協定締結式

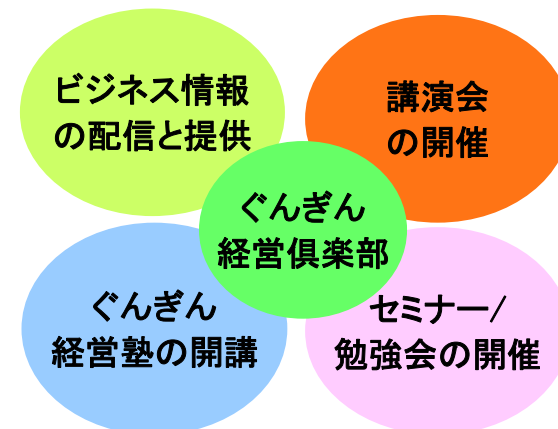


■ 「2017年度」ぐんぎんビジネスサポート大賞の部門別応募状況 (件数)

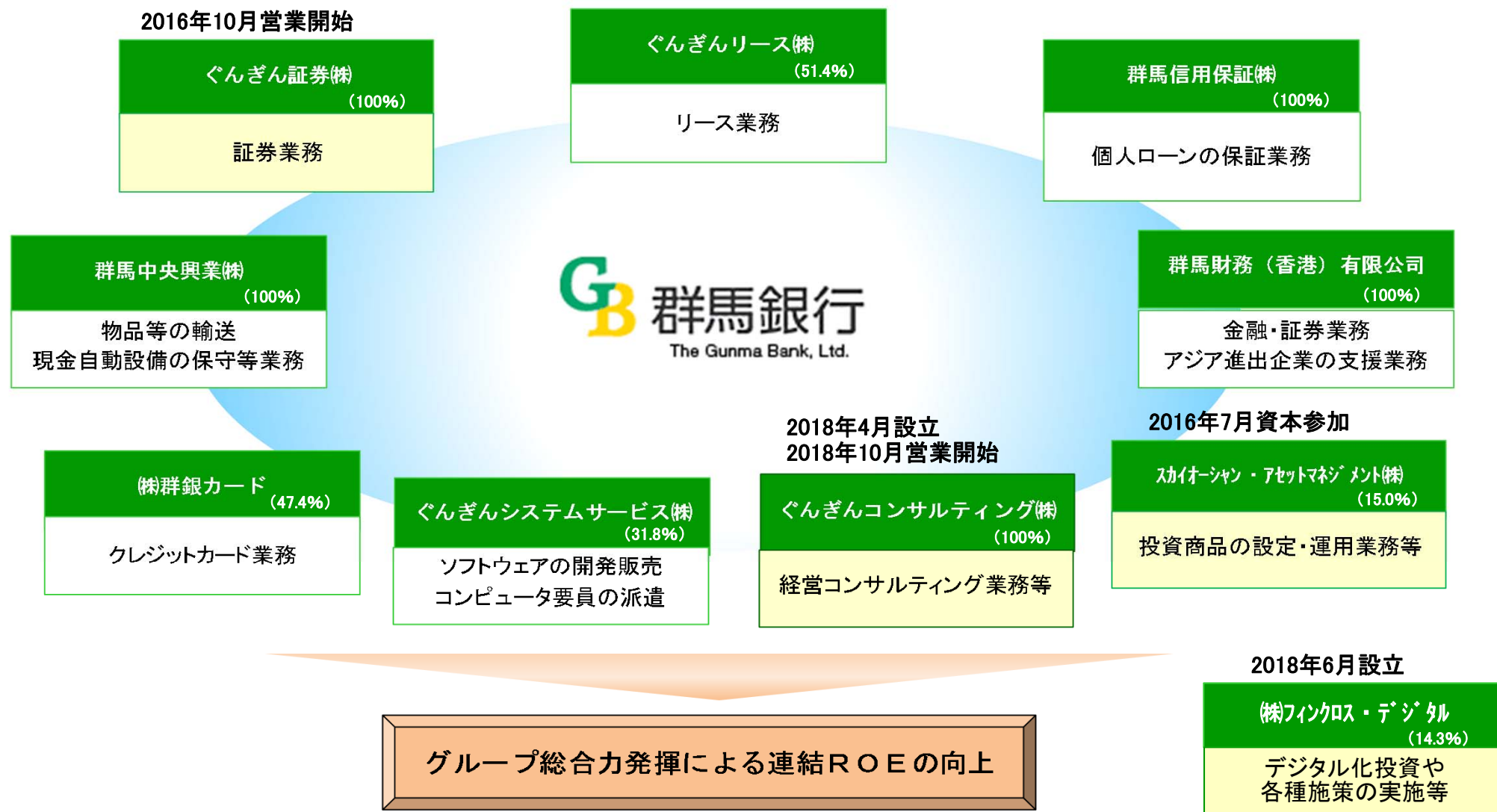


■ ぐんぎん経営倶楽部

会員数 11,078先 (18/9末)



■ グループ総合力の発揮



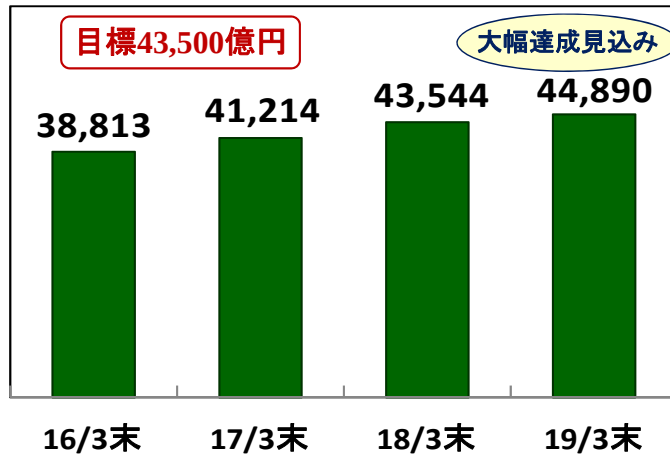
(%) : グループ持分

黄色の4社は、VT-プランの施策

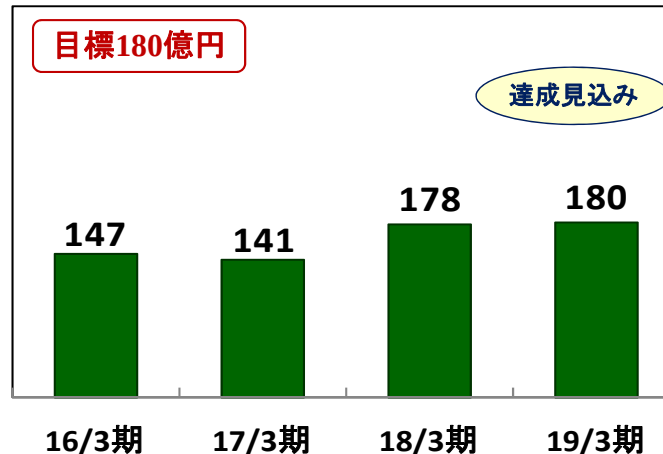
■ 計画目標の達成見込み

(単位: 億円)

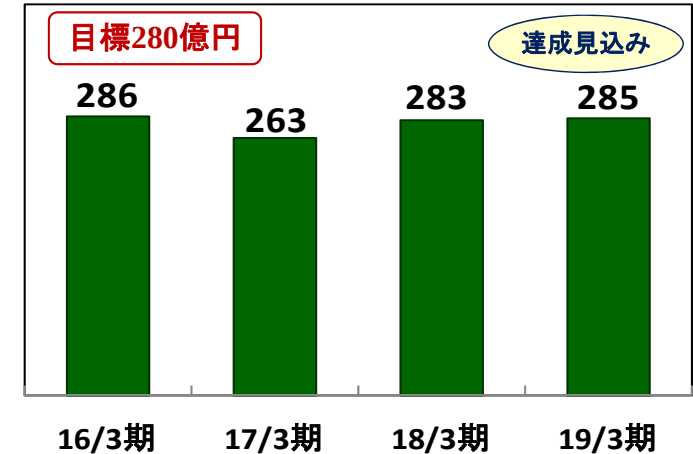
■ リテール貸出末残



■ 非金利業務利益(連結)

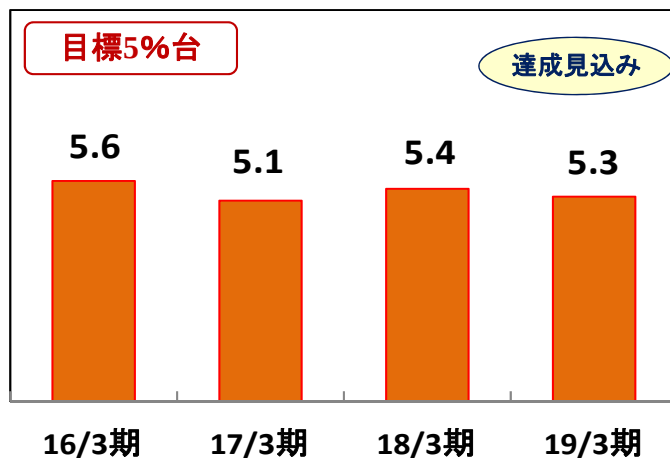


■ 当期純利益(連結)

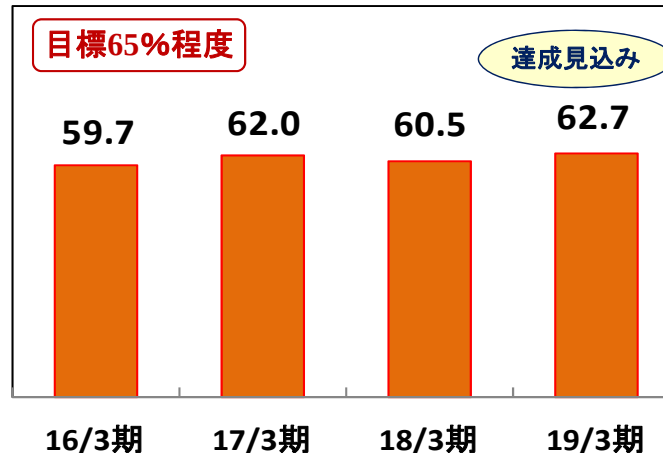


(単位: %)

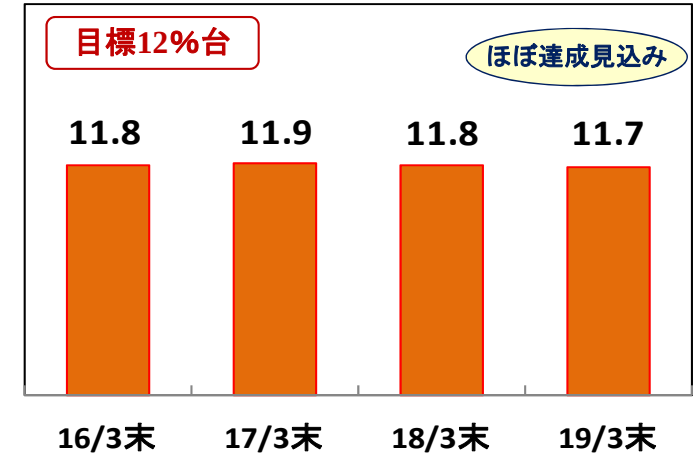
■ ROE(連結)



■ OHR(連結)



■ 普通株式等Tier1比率(連結)



Ⅱ. 業績見通し等

1. 2019/3期 業績見通し

(単位: 億円、%)

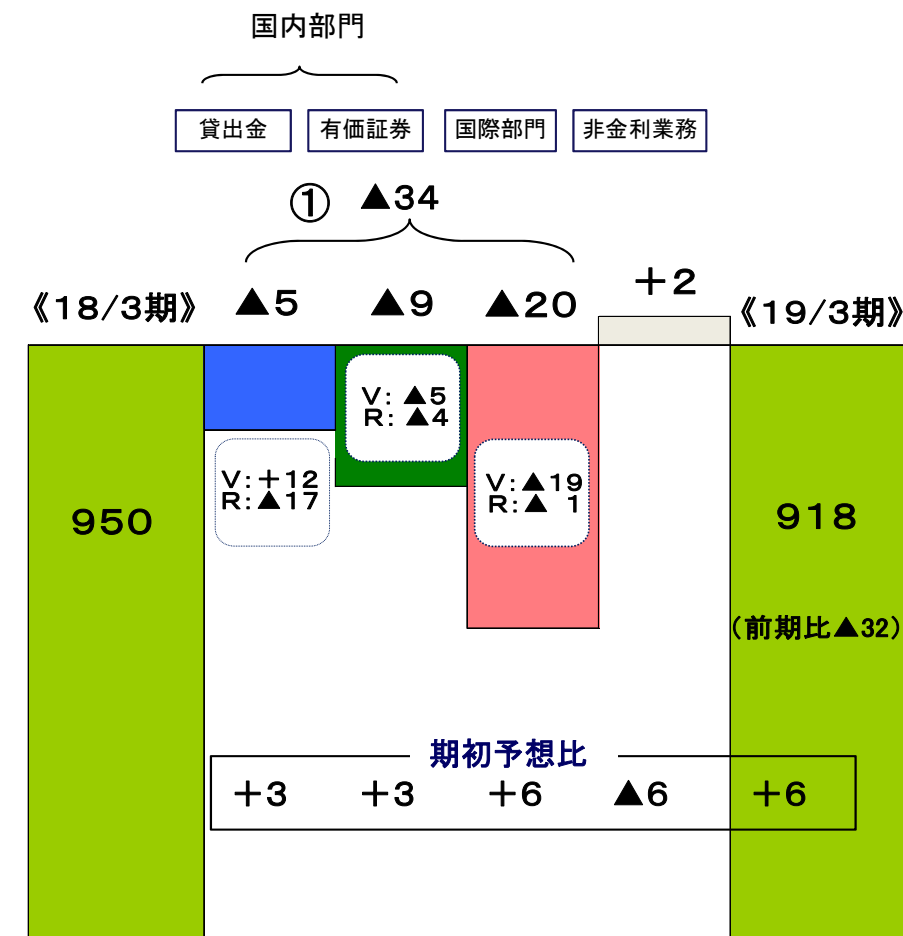
■ 損益(連結)

	No.	18/3期	19/3期	前年比
コア業務粗利益	1	950	918	▲ 32
資金利益	2	772	738	▲ 34
非金利業務利益	3	178	180	2
経費(除く、臨時)	4	575	575	-
(コア業務純益) 1-4	5	375	343	▲ 32
経常利益	6	424	415	▲ 9
当期純利益 (親会社株主帰属分)	7	283	285	2
連結ROE(%)	8	5.4	5.3	▲ 0.1

■ 平均残高と利回(19/3期)(銀行単体)

	平残	前年比	利回	前年比
貸出金	54,757	1,428	1.05	-
うち国内	52,980	1,163	0.99	▲ 0.03
有価証券	15,320	▲ 2,593	1.46	▲ 0.08
うち国内	13,725	▲ 364	1.31	▲ 0.03
預金	66,087	1,605	0.02	-
うち国内	65,472	1,632	0.01	-

■ コア業務粗利益の前年比増減内訳



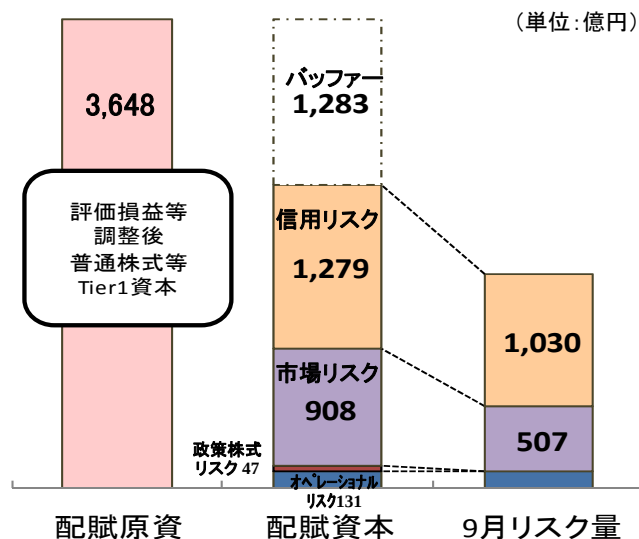
②: 退職給付差異償却▲19億円

2. 自己資本等の状況

■ 自己資本充実度の評価

リスクの状況と規制比率の状況から自己資本充実度を評価する枠組み

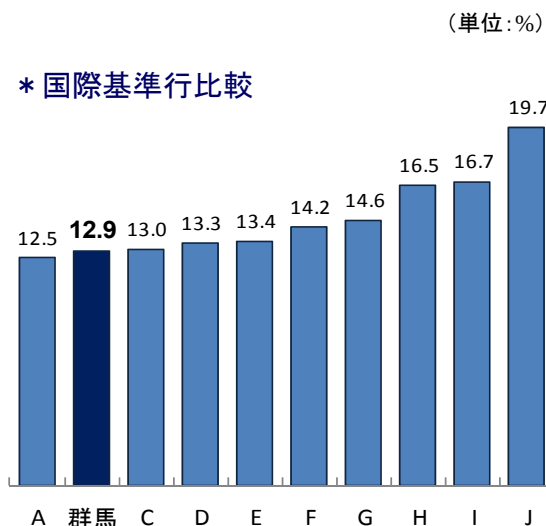
<リスクの状況(18/9期、単体)>



《評価》

- ・バッファの十分性をストレステストで確認
- ・リスクへの備えとして問題ない資本水準

<規制比率の状況(18/9末、連結)>



《評価》

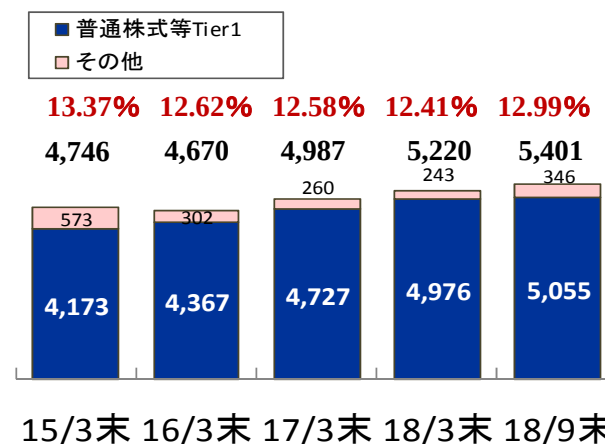
- ・規制対比問題ない水準
- ・但し、各種ストレステスト結果や地銀他行水準を踏まえると総自己資本はやや見劣る水準。

■ 自己資本の増強(劣後調達)

増額手段	年限	金額	クーポン	発行日	自己資本比率引上効果
BⅢT2債 (機関投資家向け)	10年債 (NC5年)	100億円	0.40% (5年以降L+0.44%)	16.10.28	0.26%
BⅢT2債 (個人向け)	10年債 (NC5年)	100億円	0.50% (5年以降5YSWAP+0.43%)	17.4.28	0.26%
BⅢT2債 (機関投資家向け)	10年債 (NC5年)	100億円	0.40% (5年以降L+0.29%)	18.4.27	0.24%

■ 連結総自己資本比率の推移

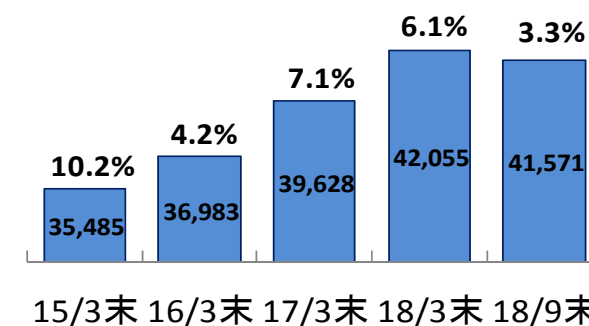
(単位:億円)



■ 連結リスク・アセットの推移

(%:前年同期末比増加率)

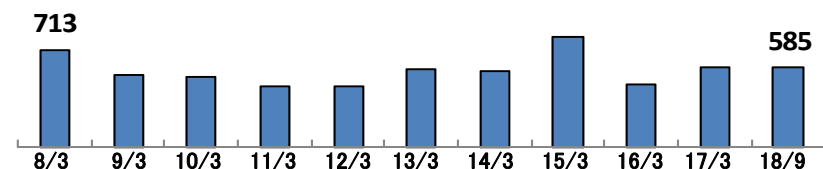
(単位:億円)



3. 1株当たり指標等と株主還元の状況

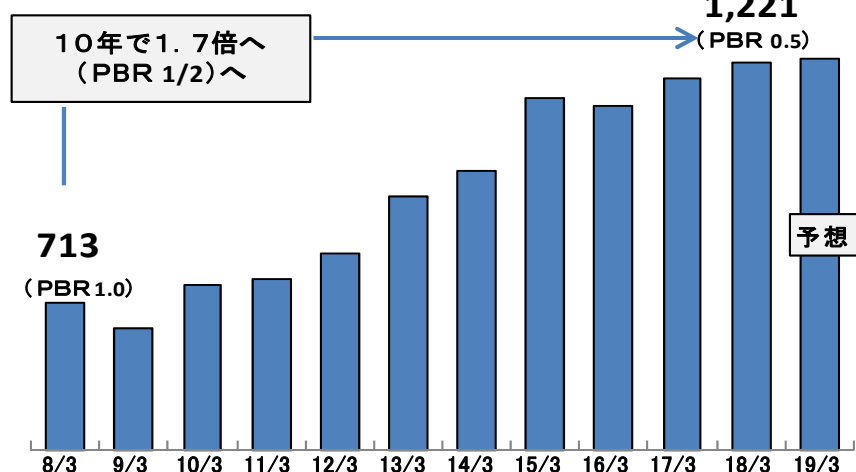
■ 株価

(単位:円)



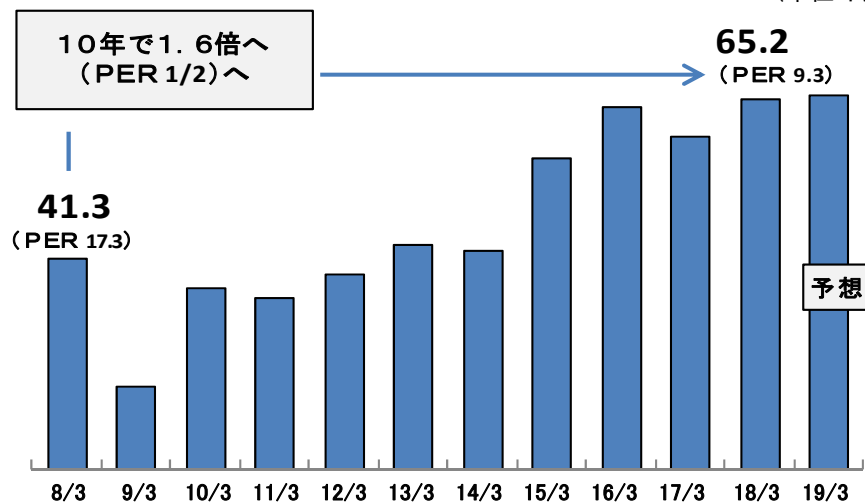
■ 1株当たり純資産(連結・期末)

(単位:円)



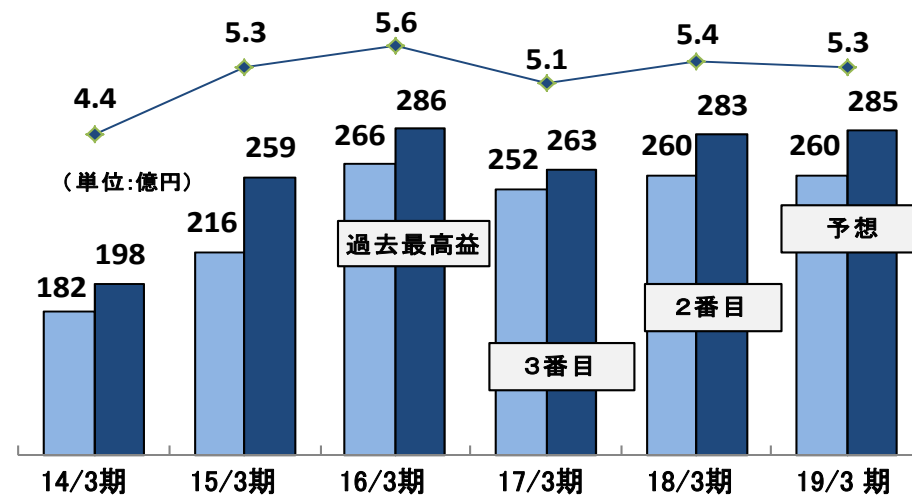
■ 1株当たり当期純利益(連結)

(単位:円)



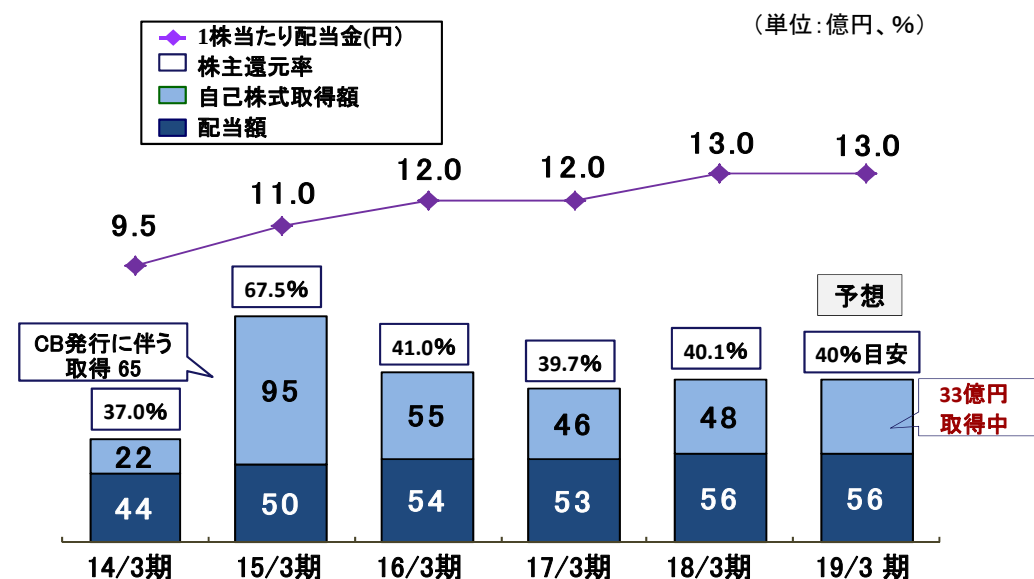
■ 利益水準の推移

■ 単体 ■ 連結 ◆ 連結ROE(%)



■ 株主還元の状況

※株主還元方針：40%目安＝(配当総額＋自己株式取得額)/単体当期純利益



Value for Tomorrow

群馬銀行イメージソング「この街で」

「この街で」歌詞

ああ いつか 記憶の中 旅してた
忘れぬ 水の匂い 風の音

目を閉じればそこに
やさしい天使が手を振る

あこがれた 都会の空 泳ぎたい
そうここは 色あせない いつまでも
物語はつづく あの地平線に向かって

悲しみさえもララ鳥は歌うよ
山に沈む太陽をみて思うよ
きざんだ 胸にいつまでも
この道はかがやく

作詞・作曲 吉田みさお(高崎市出身)
歌唱 萱野夏紀(当行行員)

澄みきった 赤城の空 吸い込んだ
思い出す 利根の川瀬 尾瀬ヶ原
清らかな水が 僕らの身体に流れる

胸おどらせてララ僕は歌うよ
夜空にひかる星をみて思うよ
やがてのぼる 朝日を目指して
この道はかがやく

☆群馬県の風景を織り込み、誰もが持つ郷愁と、
明るい未来へ希望をこめて制作。

☆当行のコマーシャル、店頭、イベントで活用、
ホームページ上でも配信中

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、
リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる
可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問合せ先
株式会社群馬銀行 総合企画部 経営管理室(IR担当)
TEL 027-254-7055、7051、9451